

1 わたしたちの市のようす

1 市の地形と土地利用



6～9ページの写真と、上の小田原市の写真で、市のようすを見てみましょう。



わたしたちが住んでいる小田原市は、山、川、海などの自然しぜんに恵まれて
います。このすばらしい自然しぜんがある小田原市のようすを地図しずを使って調べ
ていきましょう。

地図を見て、自分たちの住むまちが、小田原市のどの方位にあるのか調べてみましょう。



店や住たくが多いところは、どこかしら。

田や畑の多いところは、どこかな。



市の地形の様子や、
土地の使われ方について調べましょう。

さか わ
酒匂川



小田原市の中央は、
平地になっていて、
そこを酒匂川が
流れているんだね。



さがみわん
相模湾



小田原市の南側は、
相模湾に面して
いるんだね。





小田原市の北側に
田や畑が多いね。

田や畑の多いところは、
どこでしょう。

田



みかん畑

小田原市の東側と
西側のやや高い
ところに、くだもの畑
が多いね。



平地にある畑では、
なにをつくっているのかしら。



大きな工場が多い
ところは
どこでしょう。

高速道路を使いやすい場所にある工場



さか 酒匂川の近くにある 大きな工場



大きな工場は酒匂川
や東海道線、大きな
道路の近くに多く
集まっているわ。



酒匂川の水を使っている大きな工場もあるそうだよ。
また、品物や原料を運ぶのに鉄道の近くが便利だったそうだよ。
今は、大きな道路ができたからトラックで運べるね。



小田原^{えき}駅の周辺

店や住たくが多いところはどこでしょう。



かものみや 鴨宮地区の商店



店や住たくが多いところは、東海道線の駅や大きな道路の近くだね。



2

交通のようす

市の交通のようすについて調べましょう。

交通の中心になっている小田原駅えき

小田原駅えきには、JR東海道線ジェイアールとうかいどうや小田急線おだきゅうなどの、いろいろな鉄道てつどうが集まっています。多くの人たちがのりおりしています。また、小田原駅えき前には、タクシーほうめんのり場や、いろいろな方面へのバスのり場があります。



▲小田原駅えきJR改札口かいさつぐち



▲小田原駅えき

鉄道のりば

1・2	大雄山線
3・4	JR東海道線(下り)
5・6	JR東海道線(上り)
8	小田急線
9・10	小田急線(上り新宿方面)
7・11	箱根登山線(湯本・強羅方面)
13	JR新幹線(下り新大阪方面)
14	JR新幹線(上り東京方面)

バスのりば(西口)

のりば	行き先
W1	関東学院大学、佐伯眼科
W2	久野車庫前(税務署前～市役所～市立病院)
W3	水野尾、いこいの森(わんぱくランド)
W4	旭丘高校第2校地、(季節運行)いこいの森、(臨時バス)久野霊園
W5	小田原競輪 ※開催時のみ運行
SB	観光バスのりば

小田原駅の1日あたりの平均利用人数

(令和3年度)

新幹線	11,734人 (乗車人数)
東海道線	26,130人
小田急線	46,299人
箱根登山線	9,332人
大雄山線	12,796人



どんな人たちがのりおりしているのかな。

なぜ、東口の方がバスのり場が多いのかな。



バスのりば(東口)

のりば	行き先
E1	城東車庫前(芦子橋)、城東車庫前(富士フィルム小田原工場前)、観光回遊バス「うめまる号」
E2	県合同庁舎・警察署・市役所・市立病院経由
E3	箱根方面(芦ノ湖) 箱根湯本駅・大平台・宮ノ下経由
E4	箱根方面(桃源台) 箱根湯本駅・宮城野・仙石経由
E5	箱根方面(芦ノ湖) 箱根湯本駅・大平台・宮ノ下経由
E6	新松田駅・下曽我駅
E7	国府津駅・ダイナシティ
E8	石名坂(根府川駅)、夜行高速バス(予約制)

市を通る鉄道と大きな道路のようす

小田原市には、鉄道^{てつどう}のほかに、国道1号や国道255号、小田原厚木道^{あつぎどう}路^ろ、西湘バイパスなどの大きな道路も通っています。



▲国道1号



▲国道255号

新しくできた
道路もあるね。



▲^{けんどう}県道717号

3

市にある公共施設

市の公共施設について調べる計画を立てましょう。

川東タウンセンター「マロニエ」をたずねて



▲川東タウンセンター「マロニエ」

小田原市には、市役所や川東タウンセンター「マロニエ」のように、いろいろな公共施設がありますが、それぞれ働きがちがいます。

まず、川東タウンセンター「マロニエ」について調べ、その他の公共施設についても調べていきましょう。

どんな部屋があるのかな。



どのようなことに利用されているのかな。



どんな人たちが利用しているのかな。



「マロニエ」の中ようす

川東タウンセンター「マロニエ」には、どんな部屋があるのでしょうか。



▲マロニエ図書室

ぼくも本を借りたことがあるよ。



▲児童プラザラッコ



▲マロニエホール



▲集会室



▲マロニエ住民窓口



▲和の部屋



▲美の創作室

どんな人がどのように
利用しているでしょう。

「マロニエ」^{りょう}を利用する人たち



いろいろな人たちが、いろいろな
活動をしているんだね。



いろいろな活動を
しようかいる
コーナーがあったよ。



いろいろなしゅみの
集まりやサークルが
あるんだね。

「マロニエ」の人の話

このしせつは、川東タウンセンター「マロニエ」といいます。

「マロニエ」という名前は、市民からぼ集して決められたもので、「西洋トチノキ」という木の名前です。「マロニエ」のしき地にも植えられています。

このたて物の中には、会議をする部屋、料理ややきものをする部屋、歌をうたう部屋などたくさんの部屋があります。また、音楽会やスポーツなどができる大きなホールもあります。小さい子どもが遊べる部屋や、みなさんも利用できる図書室もあります。子どもからお年よりまで、多くの人が集まり、遊び、学び、ふれあう場として気がるに利用できるしせつです。

この部屋では、何をしていますか？



じ ち かいちょう

自治会長さんの話

ここは、「まちの創作室」という部屋です。月に一回、各地区の自治会長さんたちがこの部屋に集まって会議をしています。自治会では、まちをきれいにする活動や、地震などの災害に備えた防災活動、お祭りの計画、学校のあいさつ運動や防犯パトロール、一人暮らしのお年



寄りの方に声をかける活動、その他さまざまな行事などの計画を立て、活動を行っています。地域に住む人たちが、安心・安全に暮らせる住みやすいまちをめざして、毎月、このマロニエで話し合いをしています。



1 小田原城址公園 郷土文化館
歴史見聞館(NINJA館)



2 小田原文学館



3 小田原三の丸ホール



18 県立生命の星・地球博物館



19 おだわら市民交流センター
UMECO



17 たちばな
橋タウンセンター「こゆるぎ」



20 小田原テニスガーデン



16 しょうほく
城北タウンセンター「いずみ」



21 上下水道局



15 生きがいふれあいセンター「いそしぎ」



14 せんとう
川東タウンセンター「マロニエ」



13 小田原中央図書館
(かもめ図書館)

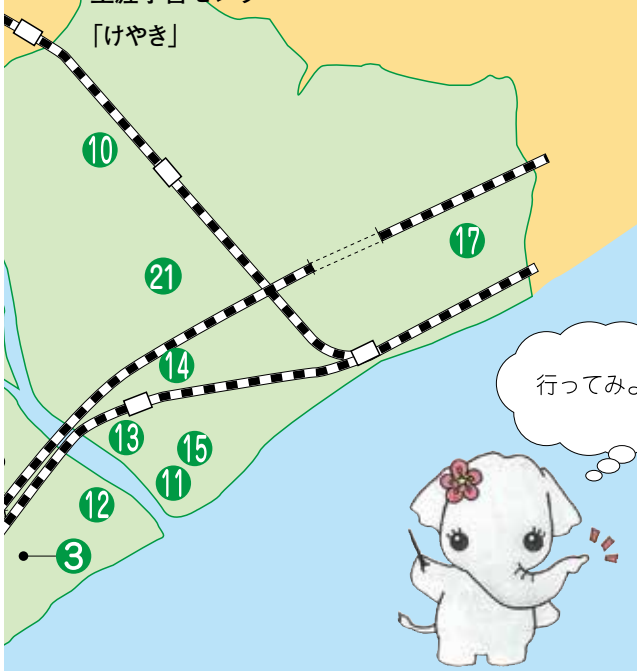




4 小田原市役所・
生涯学習センター
「けやき」

5 小田原フラワーガーデン

6 わんぱくらんど



7 城山陸上競技場



8 尊徳記念館



12 酒匂川スポーツ広場



9 小田原アリーナ



11 酒匂川左岸
サイクリング場



10 小田原球場

4 小田原の歴史を伝えるもの

江戸時代より少し前、北条氏が小田原をおさめていたころ、同じ仕事をやる人たちが集まって住んでいました。今でも、大工町、青物町などという地名として残っています。

そして、江戸時代の小田原は、城下町であるとともに東海道の中にもぎやかな宿場町として栄えていました。東は酒匂川の徒歩渡り（10月から3月の間は橋がかけられました）、西は箱根ごえがひかえていたのので、小田原で宿はくすする人が多く、90軒前後の旅籠（旅館）がありました。また、大名行列も来ましたので、本陣、脇本陣といわれる大きな宿もたくさんありました。

小田原宿で宿はくすする人のために、みやげ物や旅に必要な物を売る店も多く、かまぼこ、梅干し、ういろう、小田原ちょうちんなどが小田原の名物として広く知られたるようになりました。市内には江戸時代から続く古い店が残っており、今でも伝とうをひきついで、これらの名物を作ったり売ったりしています。

 <p>① 小田原城 戦国時代は、北条氏の本拠地でした。 江戸時代には小田原藩の役所がありました。</p>	 <p>② 松原神社 小田原宿の総鎮守です。 5月3日～5日に例大祭が行われ、各町は御輿を出し宮入が行われます。</p>	 <p>③ 小田原宿なりわい交流館 小田原の観光業内やまち歩きへの休けい所としても利用できます。</p>
 <p>④ 薬博物館（清生堂薬局小西本店） 1633年にお店をはじめました。薬関係の道具の展示や薬を保管するための、石造りの蔵があります。</p>	 <p>⑤ 梅万資料館（欄干橋三丁目） 古い梅干しの展示やおしい梅干しのつけ方を教えてくれます。</p>	 <p>⑥ かつおぶし博物館（籠常） 海からあがったカツオが、かつおぶしになるまでの工程を紹介しています。</p>
 <p>⑦ 倭紙茶舗（江嶋） 1661年にお店をはじめました。見るだけでも楽しい全国の和紙と、厳選された高級茶をとりそろえています。</p>	 <p>⑧ ひもの工房（早瀬幸八商店） ひものづくりの体験や作業工程の見学ができます。</p>	 <p>⑨ いろいろ本店 何にでも大きく売として知られ、小田原宿の名物として書物「東海道中膝栗毛」にも登場しました。見学もできます。</p>

